

「歯科医学」 投稿規定

1. 本誌は、オープンアクセス誌で、歯科医学、総合医療・健康科学分野、及びそれらの関連領域における独創的な学術研究原著論文を掲載する。ただし、学術研究原著論文のほかに、必要に応じて総説、新知見を含む臨床報告、学会抄録、学術レポート、会務報告および雑報を掲載する。
2. 本誌は、9ポイント、2段組（1ページ約2,200字）、A4変型判とし、年2回発行（3,9月の各25日に発行予定）する。論文投稿締切日は1号-12月10日、2号-6月10日とする。締切日が休日の場合には翌日、または翌々日を締切日とする。査読期間は少なくとも3週間を要する。
3. 学術研究原著論文（以下「論文」という。）および新知見を含む臨床報告の投稿は、研究機関に所属する本学会の会員に限り、受付ける。なお、原稿は他の雑誌に未発表、未投稿のものに限るが、特許（申請中も含む）に関わる内容や学会発表した内容については、原稿中にその旨明記する。
4. 論文の内容がヒトを対象とする場合にはヘルシンキ宣言（1964年採択、最新改訂版）を遵守し、動物実験は『動物の愛護及び管理に関する法律』や『研究機関等における動物実験の実施に関する基本指針』（文部科学省）等に基づいて倫理的に行われたものでなければならない。については、所属機関の長もしくは長の委託する研究倫理委員会の承認を得て、それらから発出された承認番号を明記する。
5. 国内未承認薬や治療法、適応外使用の薬剤・機器に関する症例報告については、所属機関の関連委員会（倫理委員会、未承認新規医薬品等審査委員会など）の承認を得て、そこから発出された承認番号を明記する。

6. 論文原稿の投稿手続き

論文は、投稿申し込みの時点で完成された研究内容であること。

原稿は、学会事務局に提出すること。なお、原稿提出の際には、著者の氏名、論文の標題および別刷部数（最低50部）を記入した所定の論文投稿申込書を添付すること。また、校閲終了時には本文原稿（引用文献を含む）のデータをCD-Rに入れて提出すること。

7. 投稿原稿の採否

投稿原稿は、大阪歯科学会編集委員会細則に基づき、編集委員会において査読し、その採否を決定する。また、投稿原稿は、編集方針に従って、本文原稿、図、表および写真などに加筆、削除および一部書き直しを求めることがある。

8. 採用原稿の英文の校閲

採用原稿の英文（抄録および図や表の説明文など）については、本学会の専任校閲者による校閲を編集委員会で行う。著者は、指定された日時に編集委員のところまで来ること。

9. 著作権

本誌に掲載された総説、論文、新知見を含む臨床報告および学会口演抄録などの編集著作権は、大阪歯科学会に帰属するものとする。ただし、それらの記事の内容については、著者が責任を負うものとする。著作物は、クリエイティブ・コモンズ表示-非営利-改変不可（CC BY-NC-ND）ライセンス条件下で掲載される。なお、その他の著作権に関する事項は、別に定めた細則による。

10. 原稿の形式

- 1) 原稿は、漢字まじりひらがな、口語体、新かなづかいで、A4判コピー用紙を用い、1枚につき10ポイント30字×30行の900字横書き（英文は半角で記入、例：Amyloid→Amyloidとする。）で文書作成ソフトを用いて作成すること。

2) 標題と著者の氏名

原稿は、1ページ目を標題とし、和文の標題、著者の氏名（下に、ひらがなでふりがなを付ける。）および著者の所属機関と所在地を記載する。

標題は、論文の内容を的確に表わし、かつ、できるだけ短くする。

所属機関の記載方法は、次の例のとおりとする。

- (1) ○○歯科大学大学院研究科の人は、

著者の氏名

○○歯科大学大学院○○学研究科○○学専攻

- (2) (1) 以外の人は、

著者の氏名

○○歯科大学○○学部○○学講座、または、○○学部○○学科

- (3) 学生は、

著者の氏名

○○歯科大学○○学部生

- (4) 共著の場合にも、大学院歯学研究科の人とそれ以外の人とは、それぞれ所属別に記載する。なお、責任著者名の前にアスタリスクを付ける。

*筆頭著者の氏名¹、第二著者の氏名²、¹○○歯科大学大学院○○学研究科○○学専攻、²○○歯科大学○○学部○○学講座

または

筆頭著者の氏名¹、*第二著者の氏名²、¹○○歯科大学○○学部○○学講座、²○○歯科大学大学院○○学研究科○○学専攻

3) 和文の抄録

実験目的、実験方法および結論を明記した 800 字以内の和文抄録を、第 2 ページ目に付ける。なお、抄録についても、4) の (3)、(4) および (5) の各規定に従って記載する。

4) 本文

(1) 緒言、対象(材料)と方法、実験結果(実験成績)、考察、謝辞(必要ならば記載)、内容についての口演発表の機関、年月日(西暦)および場所、引用文献の順に記載する。

(2) 見出しの区分は、1, 1), (1), a, a), (a)の順に記載する。

(3) 見出しの最初に欧文の語句がくるときは、その頭文字は大文字にする。

(4) 外来語はカタカナで、数字はアラビア数字で記載する。

(5) 数量の単位(SI 単位系)等は、次の例による。

nm, μm , mm, cm, m, μg , mg, g, kg, mm^2 , μL , $\text{cm}^3(\text{mL})$, L, $\text{mg/dL}(\text{mg}\%)$, g/dL , mol (M), mol/L (N), 36~38°C, 5 s (秒), 10 min (分), 1~2 h (時間), pH, student *t*-test, $p<0.05$, α , β , ϵ , 等

(6) 本文中の文献引用箇所には、その右上肩に番号を、文献が出てきた順に付ける。なお、引用文献は内容に直接関係あるものに留める。

5) 図、写真、表

(1) 図、写真および表などは、すべて本文末尾にまとめ、それらの挿入箇所を本文欄外に朱書きする。

(2) 図、写真および表などの標題や説明文は、すべて英文で記載(文頭語の頭文字は大文字、他の文字は小文字とする。)する。
なお、表の表題は表の上に、説明文は表の下に、また、図や写真の表題および説明文は、すべて図や写真の下に書く。

(3) 図は、白紙に黒インクで 1 枚ずつ別個に書く。

6) 末尾引用文献

(1) 引用文献は、雑誌と単行書等とを区別しないで、本文中で引用した順にアラビア数字で番号を付けて記載する。文献リストは、この番号順に作成する。

(2) 引用文献は、次の様式に従って記載する。

a. 和文雑誌

文献番号. 著者の氏名. 標題. 雑誌名 出版年; 巻: 引用ページ.

a) 雑誌名はフルネームで記載する。号数は記載しなくてもよい。ただし、通巻ページのない場合には、号数は()を付した数字で表わし、巻数のあとに記載する。

原著および総説記載例:

川村匡宏, 田村 功, 岡崎定司, 中川雅夫, 池尾 隆, 鎌田愛子. ヒト歯髄グリコサミノグリカンの構成分子種と歯髄炎にみられる組成変化. 歯科医学 1990; 53: 403-416.

学会発表抄録記載例:

長澤成明, 岩佐勝也, 池尾 隆, 塚本芳雄, 森 政和, 榎 鉄也. 浮遊腫瘍細胞の増殖時期の調節とヒアルロン酸の細胞増殖効果. 歯科基礎医学会雑誌 1990; 32 (補冊): 151.

b. 和文単行書

文献番号. 著者の氏名. (編者名). 書名. 版. 出版地: 出版社, 出版年: 引用ページ.

単行書記載例:

多和敏一監修. 横田 豊, 山田正三, 榎 鉄也, 阿部公生. 歯学生生の生化学. 第 4 版. 東京: 学建書院, 1991: 101~122.

戸田忠夫. 急性歯髄炎の疼痛管理. 泉 廣次, 斉藤 毅, 腰原 好編. 歯科診療の実際 [Ⅱ] 疼痛. 東京: 医歯薬出版, 1991: 39-42.

c. 和文ウェブサイト

文献番号. 著者または編者の氏名, または団体名. 標題. URL: 閲覧日.

ウェブサイト記載例:

国立感染症研究所. C 型感染とは. <http://www.niid.go.jp/niid/ja/kansennohanashi/322-hepatitis-c-intro.html>: 2018 年 11 月 21 日アクセス.

d. 欧文雑誌

文献番号. 著者の氏名. 標題. 雑誌名 出版年; 巻: 引用ページ, doi, ページ数, または掲載記号.

a) 雑誌名は PubMed に従って略記する(略記の仕方は、欧文雑誌の誌名略記リストを参照する.).

原著記載例:

著者のある場合

1. Hata G, Nishikawa I, Kawazoe S, Toda T. Systemic distribution of ^{14}C -labeled formaldehyde applied in the root canal following pulpectomy. *J Endod* 1989; 15: 539-543.

2. Sasayama S, Hara T, Tanaka T, Honda Y, Baba S. Osteogenesis of multipotent progenitor cells using the epigallocatechin gallate-modified gelatin sponge scaffold in the rat congenital cleft-jaw model. *Int J Mol Sci* 2018;

19 : doi.10.3390/ijms19123803 (16 pages).

3. Inui-Yamamoto C, Yamamoto T, Ueda K, Nakatsuka M, Kumabe S, Iwai Y. Taste preference changes throughout different life stages in male rats. *PLOS ONE* 2017 ; **12** : e0181650.

その他の場合

European Society of Endodontology. Undergraduate curriculum guidelines for endodontology. *Int Endod J* 1992 ; **25** :169–172.

Anonymous. Statement of the coalition for oral health. *J Dent Educ* 1993 ; **57** : 273–281.

学会発表抄録記載例：

Grady RW, Giardina PJ, Hilgartner M. Urinary iron excretion and iron balance in response to increased subcutaneous desferrioxamine after prolonged use in thalassemia [Abstract]. *Blood* 1982 ; **60** (Suppl 1) : 29 a.

e. 欧文単行書

文献番号．著者の氏名．（編者）．書名．版．出版地：出版者，出版年：引用ページ．

単行書記載例：

a) 単著で，副書名がなく，初版のとき

Muia PJ. The four dimensional tooth color system. Chicago : Quintessence, 1982 : 57–60.

b) 単著で，副書名があり，初版以外のとき

Langa H. Relative analgesia in dental practice : inhalation analgesia and sedation with nitrous oxide. 2nd ed. Philadelphia : WB Saunders, 1976 : 105–108.

c) 共 著

Schunknecht HF, Gulya AJ. Anatomy of the temporal bone with surgical implications. Philadelphia : Lea & Febiger, 1986 : 30–33.

d) 編 著

Dausset J, Colombani J, eds. Histocompatibility testing 1972. Copenhagen : Munksgaard, 1973 : 12–18.

e) 単行書の中の一つの章

Weinstein L, Swartz MN. Pathogenic properties of invading microorganisms. In : *Sodeman WA Jr, Sodeman WA, eds. Pathologic physiology : mechanisms of disease. Philadelphia : WB Saunders, 1974 : 457–472.

注：*単行書全体の著者または編者氏名の前に，In : を記載する．

f) シリーズものの中のモノグラフの一つの章

Hunninghage GW, Gadek JE, Szapiel SV. The human alveolar macrophage. In : Harris CC, ed. Cultural human cells and tissues in biomedical research. New York : Academic Press, 1980 : 54–56. *(Stoner GD, ed. Methods and perspectives in cell biology ; vol 1).

注：*シリーズについては，編者の氏名．シリーズ名；そのモノグラフの巻の順に記載する．両丸括弧で包んでピリオドを打つ．

f. 欧文ウェブサイト

文献番号．著者または編者の氏名，または団体名．標題．URL：閲覧日．

ウェブサイト記載例：

Ministry of Agriculture, Forestry and Fisheries. Present situation of Japanese dietary life and promotion of food education (2018). <http://www.maff.go.jp/j/syokuiku/attach/pdf/index-13.pdf> : accessed on September 10 2018.

7) 利益相反 (Conflict of Interest : COI) の有無

COI の有無を本文の最後 (引用文献の前) に記載する．

8) 英文の抄録

実験目的，実験方法および結論を明記した 200 語以内の英文抄録を文書作成ソフトで作成して末尾に付ける．英文抄録は，次の順序に従って記載する．

標題，著者の氏名 (ローマ字つづり)，著者の所属機関 (原稿の形式 2) の例を参照) およびその所在地，抄録本文 (Abstract) およびキーワード．

11. 投稿料，掲載費用および予納金

1) 投稿料は無料とする．

2) 掲載費用は徴収する．ただし，刷り上がりページ数で，単著 (大阪歯科大学学位規程第 10 条第 4 項に基づいて公表された共著の学位論文を含む) 5 ページ，共著 2 ページまでは学会が援助する．

また，大阪歯科大学の教員，大学院生および専攻生以外の本学会会員の投稿原稿については，その掲載費用は全額著者負担とする．

3) 凸版，写真版，特殊な印刷および別刷などの諸費用は，すべて著者負担とする．

4) 原稿の受理と同時に，上記の総費用の概算を予納金として申し受け，別刷のでき上がりと同時に精算する．予納金は，その額を学会事務局会計から通知するので，学会事務局会計に支払うこと．

予納金未納入の原稿は、掲載しない。

12. 校 正

著者による校正は再校までとする。校正は誤字、脱字などの訂正のみとし、校正中に原稿の字句の訂正、追加または削除および図・表の内容の変更は認めない。

13. この規定にない事項は、編集委員会で別に決める。

1991 年 9 月 1 日一部改正
1993 年 1 月 26 日一部改正
1995 年 2 月 18 日一部改正
1995 年 9 月 13 日一部改正
2002 年 12 月 26 日一部改正
2011 年 2 月 19 日一部改正
2017 年 12 月 27 日一部改正
2019 年 9 月 11 日一部改正
2020 年 12 月 9 日一部改正
2021 年 1 月 27 日一部改正
2022 年 9 月 14 日一部改正
2024 年 9 月 11 日一部改正
2024 年 12 月 11 日一部改正